陶磁器や建築技術ＰＲ

多治見市で「き」業展開幕

多治見市をはじめ県内外の企業が製品や技術をアピールする「第15回多治見ビジネスフェア『き』業展」が2日、同市東町のセラミックパークＭＩＮＯで始まった。３日まで。

若手経営者らでつくる実行委員会と同市が主催し、多治見商工会議所、東濃信用金庫共催。今回のテーマは「一期一会」。新規参加の51事業所を含め県内外の１２７事業所が、計１４４ブースを出展している。陶磁器関連や製造業、飲食、建築などさまざまな企業や団体が独自の製品や技術をＰＲし、来場者が熱心に耳を傾けている。

第15回を記念し、来場者が気に入ったブースにタイルのコインを投票するコンテスト、東濃地域の若手クラフト作家による陶芸や小物の展示会、女性向けのハンドメード&ワークショップも開催。３日には有料の呈茶サービスやタイル工作教室も行われる。

昨年は３４４６人が来場し、契約成立が23件、業務提携が２件だった。今回は2日間で約４千人の来場を目指している。

（有我友香理）

大勢の来場者でにぎわう「き」業展の会場＝多治見市東町、セラミックパークＭＩＮＯ

無断複製・転載を禁じます